

ユニセフ映画上映会を開催します

題名 「歌声にのった少年」

紛争地ガザ地区から世界的歌手になったムハンマド・アッサーフの実話を映画化したサクセスストーリーです。スターを夢見る少年が、最愛の姉の死やガザの厳しい封鎖を乗り越え、人気オーディション番組「アラブ・アイドル」で奇跡の優勝を果たす物語です。夢と希望を諦めない少年の熱い熱意を描いています。

2015年に作成され、当時のガザに住んでいた人々の様子です。今の状況とは違いますが、今もガザで生活している人たちがいます。

日時 9月5日(土) 14:00~15:45

会場 せんだいメディアテーク 7階 スタジオシアター (宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

入場料 無料

参加 事前申し込みが必要

定員 100人

申込方法 ハガキ・FAX・二次元コードのいずれかで宮城県ユニセフ協会までお申し込みください。当選の方へ案内を送付します。

締切 8月20日(木)



映画「歌声にのった少年」

2026 ユニセフのつどい in みやぎ

講演 「戦火のウクライナ ー子どもたち、市民はいま」

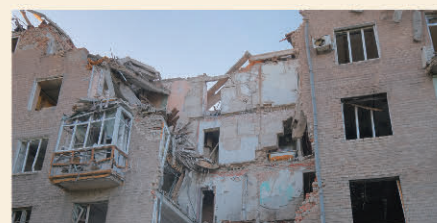
講演者 玉本 英子さん

ウクライナでは4年以上にわたる戦火のなか、今も市民、子どもの犠牲が絶えません。ミサイルから身を守るため、学校地下の防空シェルターで授業を受ける子どもたち、避難を強いられる住民、過酷な戦時下の「日常」の姿を映像で伝えます。ウクライナの現状を知り、苦難に直面する人々に心を寄せてみませんか

●日時: 11月1日(日) 14:00~16:00

●会場: エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール

*申込方法は、後日 ホームページ、みやぎ生協店舗ポスターなどでお知らせします。



© Eiko Tamamoto

ユニセフ募金報告

2025年1月~12月 宮城県ユニセフ協会預り

2025年に宮城県ユニセフ協会へ寄せられた募金は、**10,204,379**円でした。

<一般募金>

大崎市立沼部小学校、仙台市立遠見塚小学校、仙台市立泉松陵小学校、石巻市立桃生小学校(わかば児童会)、登米市立浅水小学校、仙台市立向陽台小学校、(私)聖ドミニコ学院小学校、南三陸町立伊里前小学校、仙台市立将監中学校、仙台市立南吉成中学校、仙台市立青陵中学校、東松島市立矢本第一中学校、宮城県立視覚支援学校、(私)東北学院大学、(私)南光第二幼稚園、(私)南光紫陽幼稚園、(株)河北新報社、みやぎ生活協同組合、隼電気(株)、鹿島建設(株)東北支店、日本生活協同組合連合会 北海道・東北地連事務局

他にも、多くの個人のみなさまから温かいご支援をいただきました。ありがとうございました。

宮城県ユニセフ協会

月~金 9:30~16:00
土・日・祝日は休み

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
宮城県ユニセフ協会 みやぎ生協文化会館ウイズ内
Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945
E-mail: sn.municef_miyagi@todock.coop
URL https://www.unicef-miyagi.gr.jp



郵便局(ゆうちょ銀行)ユニセフ募金口座のご案内

振替口座: 00190-5-31000

加入者名: 公益財団法人日本ユニセフ協会

通信欄に「K 1-040 宮城県ユニセフ協会」と記入

※窓口からの送金は手数料がかかります

UNICEF NEWS in みやぎ

unicef
for every child

2026.7 Vol.98

誕生から30年

栄養不良に苦しむ子どもの命を守る 「栄養治療食(RUTF)」



© UNICEF_UNI885822_Karimi

栄養治療食は、「すぐに食べられる治療食」(RUTF=Ready-to-Use Therapeutic Food)として開発され、子どもの栄養不良の治療を劇的に変化させました。クリニックでしかできなかった治療は、コミュニティや家庭でできるものとなりました。今では、重度急性栄養不良に苦しむ子どもの回復率は90%近くに達しており、非常に高い効果を示しています。

原料は、粉ミルク、ピーナッツ・バター、植物油、砂糖、ビタミン・ミネラルなどが消化の良いペースト状になっており水分を一切含まないため、細菌の繁殖を抑え、冷蔵保存も不要で保存可能期間は24か月。調理なしで袋から直接食べることができ、短期間に子どもたちの体重を増やすことができます。1袋500キロカロリーあり、生後6か月から59か月までの子どもに使えます。

製造には、子どもの消耗症の発生率が高い国々またはその周辺国に拠点を置いています。他国にも供給できる体制を整えたことで、輸送コストや時間を削減でき、より早く子どもたちに届けることができます。原材料を現地の農家から買い取ることで、地域経済の活性化や雇用も生み出しています。

5歳になる前に亡くなる子どもの直接の原因は、風邪をこじらせた肺炎や下痢による脱水症状、マラリアなど様々ですが、その半数には栄養不良が関わっています。

ユニセフは、栄養不良に陥っている子どもを早期に特定し、必要な治療とケアを提供しています。回復後も定期的に発育チェックを行い、長期的な支援で子どもたちの命と健康を守っています。

宮城県ユニセフ協会は、今年設立30周年を迎えました。

2025年12月9日(火)江陽グランドホテルにおいて「宮城県ユニセフ協会設立30周年記念式典・祝う会」をご来賓の皆さま、理事、監事、評議員、賛同団体、ボランティアなど50人の参加で開催されました。記念公演では、渡辺 祥子さん・ギター 佐藤 正隆さんによる「平和の詩」メッセージコンサートを行い、設立30周年の節目として、今までの活動を振り返るとともに、多くの方々のご支援ご協力に感謝する機会となりました。

ユニセフの子どもたちのための活動は、みなさまのご寄付に支えられております。自然災害・紛争・飢餓など、危機的状況にある地域には長期的な支援が必要です。どうぞ引き続き、子どもたちと家族に心をお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。



30周年記念公演

緊急募金にご協力をお願いします。 ゆうちょ銀行

振替口座: 00190-5-31000 (窓口の場合手数料免除) 口座名義: 公益財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「ガザ」「人道危機」「ウクライナ」「自然災害」「アフリカ」など明記してください。

明記がない場合は一般募金になります。

※振込用紙を希望される方は宮城県ユニセフ協会にご連絡ください。

2025年宮城県ユニセフ協会の活動

ユニセフ映画上映会「世界のはしっこ、ちいさな教室」を開催しました。

- 日時：9月27日（土）10:00～11:30
- 会場：せんだいメディアテーク7F スタジオシアター
- 参加：72人

1億2100万人。これは就学費用がない、近くに学校がない、学校に先生がいないなど、さまざまな理由から学ぶことのできない子どもたちの数です。この映画は、シベリア、ブルキナファソ、バングラデシュを舞台に、「子どもたちに広い世界を知ってほしい」「子どもたちには明るい未来がある」と情熱をもって信じる道を歩き続ける3人の先生の奮闘と、子どもたちが学びに目覚めていく姿を描いたドキュメンタリーです。この瞬間も世界のすみっこで、子どもたちのたくさんの夢が育っていることを知り、世界の教育について考える機会として開催しました。



感想 教育を世界にまんべんなく届けるのは難しいことだなあと実感する映画でした。

学校に行けない国があるから、できるだけたくさん学校に行こうと思いました。

他の国では「勉強をしたい」と思う子どもたちもたくさんいるけれど、親に勝手に結婚させられてかわいそうだった。

日本の教育が当たり前ではなく、恵まれていることを実感しました。

ヤスミンが中学校の制服を着るところで涙ができました。知識は、自由と自立を両立させることができます。

春休みユニセフ教室～外国コイン仕分けボランティア体験会～

- 日時：3月15日（土）13:00～15:00
- 日時：8月2日（土）13:00～15:00
- 会場：みやぎ生協文化会館ウィズ
- 会場：みやぎ生協文化会館ウィズ
- 参加：4組11人
- 参加：5組13人

仕分けた外国コインの額：22,126円
バザー募金額：11,165円

仕分けた外国コインの額：46,340円
バザー募金額：8,944円



感想 ユニセフの支援活動を知ることができました。

世界の子どもの力になりたいと思いました。

夏休みの自由研究にぴったりの企画でした。

2025年その他の活動

◆宮城県との共催で「子どもの権利に関するパネル展」を開催しました。

5月26日～5月30日

- ①「潮とともに生きる～アグネス大使とみたキリバス、気候変動の現状～」
- ②「アフリカの子どもの物語」

◆みやぎ生協文化会館ウィズにてユニセフパネル展を開催しました。

6月～7月「(新)水がなくなる」
10月～12月「ユニセフってなあに」

◆ユニセフブックカフェを開催しました。

宮城県ユニセフ協会が所有している平和に関する書籍や絵本を見ていただけるカフェを開催しました。

5月28日10:00～13:00
10月15日10:00～13:00
みやぎ生協文化会館ウィズ

◆ユニセフ学習会、出前授業など

- 1月24日 仙台市立北仙台小学校 5年生（100人）
- 2月28日 仙台市立柳生中学校 3年生（187人）
- 7月31日 みやぎ生協 加賀野店エリア
- 10月10日 南三陸町立伊里前小学校 4年生（16人）
- 12月7日（私）聖ドミニコ学院小学校
1年生～3年生（77人）、4年生～6年生（81人）



仙台市立柳生中学校

2026年宮城県ユニセフ協会の活動

「春休みユニセフ教室&外国コイン仕分けボランティア体験会」を開催しました。

- 3月14日（土）13:00～15:00
 - 会場：みやぎ生協文化会館ウィズ
 - 参加：6組15人
- 仕分けた外国コインの額：30,340円
バザー募金額：6,600円

ユニセフ教室は、クイズや上腕計測メジャー、栄養補助食品、ビタミンAカプセルの学習、DVDの視聴で児童労働について学習後、ネパールの水がめに水を入れて運んだり、蚊帳に入る体験をしました。今回の外国コインは、みやぎ生協のサービスカウンターや、宮城県ユニセフ協会に寄せられたもので、40分間の仕分け作業をおこないました。参加した子どもたちへ「ボランティア認定証」の授与がありました。

感想

孫と一緒に仕分け作業ができて、貴重な体験ができました。

世界の子どもたちと日本の子どもの食事や栄養、日常生活の違いが少しでも伝わり、もっとみんなのことに目を向けられるようになって欲しいと思いました。

ユニセフ教室の学習で、世界には学校に行けない子どもや栄養を十分に摂れない子どもがたくさんいることを知って、私たちは本当に恵まれていると実感し、この子たちも笑顔で生活できるように支援をしようと強く思いました。

こんなに様々な国の硬貨に触れる機会はないので、とても貴重な体験になりました。



宮城県との共催で「子どもの権利に関するパネル展」を開催しました。

- 会場：宮城県庁1階ロビー
- 期間：5月25日（月）～5月29日（金）
- 展示パネル

①「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」

第二次世界大戦後、ユニセフが日本の子どもたちを支援した様子を伝えるパネルを展示します。支援物資の粉ミルクや原綿が届き、給食や衣料が提供され喜び子どもたちの様子を伝えました。

②「ユニセフってなあに」

ユニセフの歴史や活動内容を分かりやすくまとめて紹介しました。



これからの活動

夏休み外国コイン仕分けボランティア体験会

- 日時：8月1日（土）13:00～15:00
 - 会場：みやぎ生協文化会館ウィズ
 - 募集：20人程度
- 詳しくは、宮城県ユニセフ協会HPをご覧ください。

ユニセフ写真展

- 6月～7月、10～12月
- みやぎ生協文化会館ウィズ 2F
(6月～7月「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」)

ユニセフブックカフェ(へいわの種をまこう、ピースピース！)

- 10月17日（土）10:00～15:30
 - みやぎ生協文化会館ウィズ
- パネルの展示、DVDの視聴、支援物資やネパールの水がめ、蚊帳、地雷の展示もあります。

ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)

- 日時：12月12日（土）11:00～12:00
- 場所：仙台駅西口 2F
ペDESTリアンデッキ(予定)
- 参加：ガールスカウトのみなさん、ボランティアのみなさん

ユニセフ学習会・出前授業

※学習会・出前授業を希望する方は事務局までご連絡ください。